

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2～3 第31回やけうちどんと祭
- P 4～7 むらの話題
- P 8～11 お知らせ
- P 12 村民のうごき



大好きなプール遊びに満面の笑顔を見せる田検保育所の子供たち。

【写真撮影＝村営プール（8月12日）】



メインイベントの花火大会では、連発花火、仕掛け花火、水中花火と様々な花火が打ち上げられる度に、島内外から集まった観客から大歓声が上がりました。

今回、歌謡ショーでは『うかれけんむん』のうたを作詞・作曲された北峰聖・山本寛之の両先生が、ベテラン歌手の川島和子さんなどと歌謡曲を披露し、最後に開運酒造の皆さんと『けんむん音頭』で会場を盛り上げてくれました。

二日の本祭りは、今年一月に開通した県道湯湾バイパスでのパレードを皮切りに、舟こぎ大会やうなぎの掴み取り大会、若手唄者の中村瑞樹さん・吉原まりかさんによる島唄大会、歌謡ショーなどがありました。

楽しめると、今年新たに開催された『のど自慢大会』で十組の方が自慢の歌声を披露してくれました。

六回目となる宇検村連合青年団主催によるイベントが行われ、恒例のナンコ大会、舞踊やフラダンスなどの華麗な踊りに加え、連合青年団のハブレんジャーが三年ぶりに復活し、子ども達を

一日の前夜祭は、今年で『第三十一回やけうちどんと祭』が湯湾港をメイン会場に八月一日、二日の二日間にわたり盛大に開催されました。

第31回 やけうちどんと祭



大型のサメを仕留めた悦さん

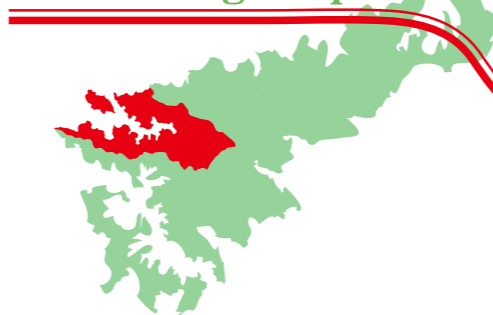


悦さんは、「捕獲するのととても苦労した。最近では、小型のサメが増えてきている。養殖や漁で被害がないように駆除を続けたい。」などと話しました。

大型のサメを捕獲 部連沖で仕留める

久志集落の悦池富さんが六月三十日、大型のシユモクザメを捕獲しました。部連沖で捕獲したところ、体長二・九メートル、重さ二百三十キログラムもありました。三十日の午前七時頃、仕掛けた網にサメが掛かっているのを見つけ、約四時間の格闘の末、サメが弱ったところを見て捕獲に成功しました。

Uken Village Topics



わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎0997-67-2211



郡体で宇検村選手団が活躍 ~男子バレーボールは13年ぶりの優勝~

第63回県民体育大会・第50回大島地区大会が、7月10日から12日の3日間かけて奄美群島全域で開催されました。大会へ本村からは、監督選手を合わせて、10競技へ103名が出場しました。大会中は晴天に恵まれ、夏本番となる暑さのなか熱戦が繰り広げられ、宇検村選手団も各競技で活躍を見せました。

二日間に渡る熱戦を制し、県大会への出場を決めた宇検男子バレーの皆さん【写真提供=奄美新聞】

今年初出場した水泳競技では、小松 寿美さん(30歳代 50㍓自由形)、三原 洋子さん(同 50㍓平泳ぎ)、吉村 美紀さん(同 50㍓バタフライ)の3選手が見事に優勝。陸上競技では、泉 俊幸さん(50歳代 2,000㍓)、幸 慎太郎さん(共通 110㍓障害)、中田 信幸さん(30歳 未満走り幅跳)がそれぞれ2位。年代別5組の団体戦で競ったソフトテニスでは、男子の部で3位入賞を果たしました。また、瀬戸内町で開催された男子バレーでは、決勝戦で地元・瀬戸内町との接戦を制し、宇検村が13年ぶり4度目の優勝を飾りました。



ユットラ&ホイホイコンサート ~観客も飛び入り出演!大いに盛り上がる!~

演奏に合わせて踊る観客の皆さん

6月29日に村元気の出る館大ホールにて、デュオ ユットラ(小林 由美子さん・吹上 晴彦さん)とホイホイ(吉澤 恵子さん・井上 朋子さん・篠山 恭子さん・吉田 昭雄さん)によるコンサートが盛大に開催されました。

デュオ ユットラとホイホイメンバーの皆さんは、音楽活動を通して関西を中心に活躍されており、デュオ ユットラのお二人はハーモニカの演奏で、懐かしの曲からアニメソングまで幅広い楽曲で楽しませてくれました。また、ホイホイの皆さんは、ボーカルの吉澤さんを中心に、ピアノ演奏、三味線、民謡など多彩な内容で観客を盛り上げました。



ハーモニカを演奏するユットラの二人

コンサートの途中では、観客も飛び入りで演奏に加わったり、一緒になって踊るなどして、満員となった会場からは大きな歓声が上がっていました。



トップアスリートに学ぶ ~ラグビー元日本代表の熱血指導~

7月14日、田検小にて元ラグビー日本代表の石塚 武生さんによるタグラグビー教室が行われました。

楽しい教室に笑顔を見せる生徒の皆さん

この教室は、文科省と日本体育協会が推進する「トップアスリート派遣指導事業」の一環として行われたもので、石塚さんの大きな声と気合い十分な熱血指導に、生徒のみなさんも元気に応え、ボールに慣れる基本練習からボールを取り合うミニゲームなどに挑戦しました。

石塚さんは、「田検小の生徒は、素直で元気が良い。子供たちには、元気に声を出す大切さを伝えていきたい。」などと話してくれました。

【訃報】田検小にてタグラグビー教室の講師をして頂きました石塚 武生氏が、平成21年8月6日に突然死症候群のため逝去されました。今回の記事は、ご遺族の方のご理解を頂き掲載しております。取材で熱く語る石塚氏の姿が、今でも印象に残っています。ご冥福をお祈りします。



生徒に熱血指導をする石塚 武生さん



奄美大島中学総体を開催 ~柔道・男子バレー競技で優勝を飾る~

部員6名で見事優勝した田検・久志合同

41回目となる奄美大島中学校総合体育大会が、6月17日から19日に開催され、各競技で児童生徒の元気なプレーを見ることができました。

柔道では、男子団体で田検中が3連覇を果たし、個人で田検中の保池 玄大くん(男子 66キログラム級)、勝 秀人くん(同 73キログラム級)、前川 将悟くん(同 90キログラム級)、辰島 千夏さん(女子)が見事に優勝。剣道では、男子団体で田検中が3位、女子団体で田検中が2位、女子個人で松井 未帆さん(田検)が準優勝でした。田検・久志の合同チームで挑んだ男子バレーでは、部員6人と少ない人数ながらも決勝戦で強豪小宿を2-0のストレートで下し見事、優勝を飾りました。



柔道男子団体の決勝で相手を抑え込む田検中・大将の前川 将悟くん

7月の県体育大会では、柔道男子団体のベスト8が最高成績でしたが、出場した選手全員が全力で頑張りました。



田検中出身の富山くん全国5位 ～高校総体柔道男子個人90kg級県で優勝し全国へ～

本村田検中出身で、鹿児島工業高校3年生の富山 大介くんが、5月21日に鹿児島アリーナで行われた『2009年度鹿児島県高校総合体育大会柔道競技』の個人男子90kg級の部へ出場し、見事に優勝を飾りました。

県高校総体で優勝し、全国高校総体で5位入賞を果たした富山くん(左)

さらに、8月10日に奈良県で開催された全国高校総体柔道競技において、同階級にて準々決勝へ進み、5位入賞という快挙を達成しました。

富山くんの一連の活躍が認められ、(財)奄美大島市町村体育協会より優秀スポーツ賞に選ばれ、その受賞式が8月12日に村役場のほうで行われました。受賞式で富山くんは、「良い結果を残せたのも、周りの方々のおかげです。高校での柔道生活は、あっという間でした。これからも柔道がんばり、少しでも後輩の手本になりたいです。」とあいさつをしました。

富山くんは、平成19年に鹿児島工業高校の柔道部(稲田 博実監督)へ入部し、厳しい練習と寮生活をがんばってきました。監督や周りの選手からの信頼も厚く、主将も任せられました。入部してから、地道に努力してきたことが結果に繋がった大会になりました。

富山くんの活躍が、後輩の皆さんにも良い刺激になったことと思います。



優秀スポーツ賞の賞状を手にする富山くん。全国大会での試合の状況などを丁寧に話してくれました。



富山くんが、小・中学校時代に練習していた宇検村の柔道場へ鹿児島工業高校から九十枚の寄贈がありました。上質の畳の感触に後輩の皆さんは大満足している様子で、富山先輩に負けないように、日々の練習に励んでいます。



子ども達は、初めて見るチョウの大きさや模様を楽しんでいました。

アジアのチョウ展示会を開催

村教育委員会の主催で、8月13日から17日の5日間にわたり、村元気の出る館大ホールにて『アジアのチョウ展示会』が開催されました。

これは、今年4月に本村田検出身で、現在横浜市へ在住の平 直綱さんより寄贈されたチョウの標本約500種1,600点を展示したもので、多くの方に本物のチョウを体験してほしいと初めて開催されました。

チョウの標本は、平さんが25年かけて東南アジアで採取したもので、世界的にも貴重な種類が多くあります。

絶滅の危機があるとして保護されている種や、日本の国チョウであるオオムラサキ、奄美でも見られるオオゴマダラなどもあり、色々な大きさ、模様をした多くのチョウが訪れた方々を楽しませてくれました。

寄贈された標本は、今後もチョウを学ぶ貴重な資料として、大切に保管していきます。



屋鈍海岸でボランティア植栽 ～アダンとバショウで昔の砂浜風景を！～

7月18日に屋鈍海岸にて、アダンやバショウの植栽が行われました。

これは、宇検村と県大島支庁が合同で開催したもので、昔の砂浜風景を取り戻したいという想いから実現したものです。

合同のボランティア作業でお互いに協力し、植栽に汗を流す参加者のみなさん

当日は、日差しが強く暑い中での作業となりましたが、用意したアダン80本とバショウ240本を宇検村職員、県大島支庁職員及び、漁協関係者、屋鈍集落の方など約50名で植栽を行いました。また、皆既日食で奄美大島を訪れ、屋鈍海岸でキャンプ中だった旅行客も飛び入りで参加しました。

防風林の役割もあるアダンは道路沿いの砂浜2カ所に植栽され、バショウはコンクリート壁の前へ植栽されました。植栽されたアダンとバショウが大きく成長し、昔懐かしい砂浜の風景が見られるのを楽しみにしています。



役場庁庭で日食を観察する皆さん。辺り一面が暗くなると驚きの声が上がった。

宇検村でも部分日食を体験 ～7月22日・日本で46年ぶりに観測～

7月22日に、日本では46年ぶりに観測された皆既日食が、奄美群島の一部の地域で見られました。

奄美群島内で皆既日食になる地域は、奄美大島北部と喜界島でしたが、当日曇り空となり、奄美大島北部では、皆既日食をはっきりと確認することはできませんでした。喜界島では、皆既日食の時間帯に雲が途切れ、もっとも美しいといわれるダイヤモンドリングも観察することができました。

宇検村など南部大島では、部分日食となり、観測できる午前10時55分頃に、辺り一面が暗くなる体験をすることができました。



役場村長室で行われたAED贈呈式の様子

七月二十四日に村内の四校(久志小中・田検小・田検中・名柄小中)へ、救急救命器具のAED(自動体外式除細動器)が贈呈され、同日に各学校の校内へ設置されました。昨年度は、消防や診療所から最も遠い阿室小中に設置され、今回の四校への設置で村内五校すべてにAEDが設置されました。AEDは村民の方も利用できるよう学校正面に設置してあります。『ご協力』という時に役立つてほしいと思います。

村内4校にAED 救命率の向上を図る